

暑い最中の8月中旬に、鯉城学園図書室の本の整理を、運営スタッフである鯉城会の図書ボランティアの皆さんのお力をお借りして行いました。

その作業中、昔の本で、今もなお愛読し続けていただいている本や、一時期だけ話題になった本など色々あることを知りました。

今月は、そうした『昔読んだ名作』を“もう一度読む楽しみ”についてお伝えします。



1 若い頃とは “ 違う読み方 ” ができる

昔は気づかなかった登場人物の気持ちや、物語の背景の深さが、年齢を重ねると自然と胸に入ってくる。同じ本なのに、まるで新しい作品のように感じられることがあります。

2 季節が変わると “ 物語の風景 ” も変わって見える

秋の静けさや冬の澄んだ空気の中で読むと、物語の情景がよりしっとりと心に響く。若い頃に読んだ“夏の冒険”も、今読むと懐かしさと温かさが増します。

3 “ 思い出と一緒に ” にページが開く

本を開くと、当時の暮らしや家族の姿、読んでいた部屋の匂いまでふっとよみがえることがあります。再読は「自分の人生をそっと振り返る時間」にもなります。

4 “ 短編やエッセイ ” は再読にぴったり

体力や集中力に負担が少なく、秋の夜長にちょうどいい。一話ごとに区切りがあるので、ゆっくり楽しめます。

5 名作は “ 読む時期 ” によって表情が変わる

- ★ 人間ドラマは人生経験が増えるほど味わい深くなる
- ★ 自然を描いた作品は、秋冬の静けさと相性が良い

♡ 再読は“心の体温を上げる読書”です。
昔の名作をもう一度読み直して、心をじんわりと温めましょう。

図書室からのひとこと

※ 本や読書にまつわる投稿を700字程度でお寄せください。詳しくは事務室まで。

※ 新刊情報は、以下のとおりです。

新刊図書（学園購入・鯨城会図書ボランティアからの寄贈）

【7月】

著 者 名	著 書 名	出 版 社
朝倉 かすみ	けんぐわい	光文社
小砂川 チト	ゾンビ回収婦	講談社
原田 ひ香	古本食堂	ハルキ文庫
辻村 深月	ファイア・ドーム 上	小学館
辻村 深月	ファイア・ドーム 下	小学館
池井戸 潤	ブティック	ダイヤモンド社
林 真理子	80代になるとたいていボケるか死ぬ。70代は神様から与えられた特別な時間	幻冬舎
土屋 うさぎ	謎の香りはパン屋から	宝島社
森 バジル	探偵小石は恋しない	小学館
原田 ひ香	台所のあるところ	文藝春秋
東野 圭吾	小さな故意の物語	講談社
宇江佐 真理	酔いどれ鳶	朝日新聞出版

【8月】

著 者 名	著 書 名	出 版 社
井原 忠政	三河雑兵心得 18 退き口仁義	双葉社
宇江佐 真理	御厩河岸の向こう	朝日新聞出版
原田 マハ	カフーを待ちわびて	宝島社文庫
阿川 佐和子	年とる力	文藝春秋
土屋 うさぎ	謎の香りはパン屋から2	宝島社
越尾 圭	もう一度だけ会えたなら、ぼくとわたしは――	幻冬舎
柳瀬 みちる	おもいでホームクッキング	小学館
青山 美智子	リカバリー・カバヒコ	光文社文庫
村上 春樹	夏帆 The Tale of KAHŌ	新潮社
児島 青	本なら売るほど	KADOKAWA
古賀 及子	巣鴨のお寿司屋で、帰れと言われたことがある	幻冬舎
宮本 輝	湾	新潮社
ひすい こたろう	幸せにならなくたっていいんだよ	ディスカヴァー・トゥエンティワン